

かけはし



平成26年度学校だより
大府市立共和西小学校

27年3月5日号

校長の巻

子どもたちの一年の大きな成長ぶりは、この時期に行われる児童会役員選挙の立会演説会でも、発揮されます。それをよく表しているのは、立候補者と推薦責任者の演説です。演説の内容は、自分が児童会役員に選ばれたら、「笑顔いっぱいの学校にしたい」「あいさつが進んでできる学校にしたい」というような抱負が主なものです。それを実に堂々とした態度で、聞き手を意識したはきはきとした口調で述べるのができたのです。大人でも、たくさんの人たちの前で話すとなると、上がってしまい、つかえたり、言い直したりして、最後までなめらかに話し終える、ということは、なかなか難しいことです。でも、立会演説会に臨んだ子どもたちは、どの子も聞き手が思わず引込まれる、という演説ぶりでした。何度も何度も練習したに違いありません。一つの目標を達成するんだ、という意気込みをもって。

立会演説会は、ごく僅かな時間に、立候補者の全てが分かるようにしなければいけない、訴えかけるものを投げかけなければいけない、意気込みを分かってもらわなければいけない、という場です。そのために、話す内容を練り、練習し、自分の心が届くように、入念に準備をします。だから、立会演説会で「うまくいく」というのは、選挙人の心をつかむことにつながるのです。

平成27年度前期児童会役員選挙では、役員7人のところに、13人が立候補しました。どの立候補者も甲乙付けがたく、誰に任せても大丈夫、という安心感をもちました。

当選結果は以下の通りです。リーダーとしての大活躍が期待されます。(2/25投票・開票)



3年生 初投票

会 長	5 年	平 敷 安登希			
副会長男子	5 年	加 古 夏 稀	副会長女子	5 年	安孫子 美 玖
役員男子	5 年	有 木 裕 亮	役員男子	4 年	若 林 快
役員女子	5 年	森 永 玲 南	役員女子	4 年	大 森 香 音



シリーズ 先生の横顔

どんぐり学級 伊藤久美子先生にインタビューしてみました。

- ①今まで出会った方で「素敵だな」「尊敬してしまう」「あこがれの人」と思う方を教えてください。
- ②今いちばんやってみたいことは何ですか。
- ③自分のチャームポイントは何ですか。

- ①25年前、同じ学校で勤務した先輩先生です。彼女の子どもの接し方、授業技術、どれも勉強になりました。それに、いろいろなことに前向き取り組むエネルギッシュなところは憧れです。一生懸命仕事をして、楽しむときは大いに楽しむ、そんな生き方を教えてくださった偉大な方です。
- ②若かりしころにやっていたお稽古事に挑戦したいです。お茶に生け花、書道……、どれも中途半端に終わっています。何より、我流で作ってきた料理をしっかりと習って、おいしい物を作って食べたいです。
- ③何かいいことないかと探す大きな目。小回りの効く小さな体 かな？

おめでとう 受賞

新美南吉童話賞 小学校低学年の部 優秀賞
2年 金澤佳音

~~~~ 「くまくんのお手紙」 ~~~~~

くまくんとうさちゃんは、とてもなかよしのお友だちです。

ある日、うさちゃんがひっこしをして、遠くの町に行ってしまいました。それでも、二人はお友だちです。お手紙を交かんして、いつもお話ししているからさみしくはありませんでした。

くまくんは、うさちゃんに会いたくなって、お手紙を書きました。  
「〇日にうさちゃんの家に行きたいな。くまより」

うさちゃんからおへんじが来ました。  
「その日は遠くに買いものに行くからダメなの。うさぎより」

くまくんは、ちがう日ならいいかなと思って、またお手紙を書きました。

「△日にうさちゃんのおうちに行くよ。くまより」

うさちゃんからお返事が来ました。  
「その日は、お父さんに工作を教えてもらうからいそがしいの。うさぎより」

くまくんはすこしがっかりしました。でも、また手紙を書きました。

「□日ならいいよね。うさちゃんのおうちに行くからね。くまより」

でもうさちゃんからのへんじは、  
「その日はお母さんとたくさんおりょうりを作るからあそべないの。うさぎより」

くまくんはおこってしまいました。もううさちゃんはぼくとあそびたくないんだ。プンプン。くまくんは、手紙を書かなくなりました。

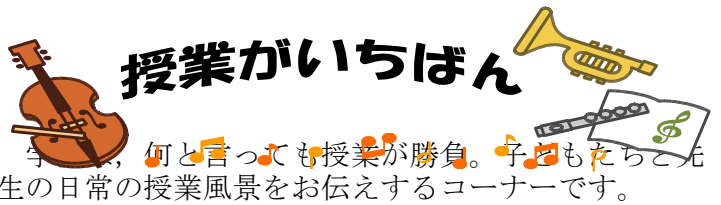
~~~~~  
さて、うさちゃんとかまくんは、どうなるのでしょうか。つづきは次号にて。

各学年が心をこめて贈ります お世話になった6年生に

3月3日、「6年生を送る会」が開かれました。この日、中心になって会を進めたのは、5年生。会が成功するようにと、5年生のリードが光った心温まる時間となりました。



のり演技の在校生とお礼の歌を歌う6年生



子どもたち、何と言っても授業が勝負。子どもたちと先生の日常の授業風景をお伝えするコーナーです。

理科で「人の誕生」について勉強した5年生。保健師さんからもお話を伺いました。

まず理科で、「精子・卵子」「へその緒のはたらき」「男女の分かれ方」などを調べてまとめました。



保健師さんに、まず、ビデオを見せていただきました。「うれしいな、赤ちゃんが生まれるよ」

大きなおなかをさわってお父さんの手。ビデオのナレーションは語ります。

「七ヶ月。お父さんとお母さんは、赤ちゃんに話しかけます。すると、赤ちゃんが動きます。」

最初は鉛筆の先でちょっと点を書いたぐらいの大きさの命。それが、お腹の中で育っていく様子を子どもたちは見て、自分たちが調べた事柄を追体験。

ビデオを見終わった後、「自分の名前を丁寧に書いてみてください。どうしてこの名前を、お父さん、お母さんがつけてくれたか、お話ししてください。」
勇友さん「勇気があって友達が多くなるように。」



などのお話が。
つづいて、代表の子が、8kgの重さを身に付けて歩くことを体験。



次に、羊水の働きを、ビンの中の卵を振って実感しました。卵だけが入っているビン、羊水のようなものの中に卵が入ったビン。両者を振ってみると違いは明らか。すぐ割れる、どんなに振っても変化がない、という違いです。



○子どもたちの声

・赤ちゃんが育つにつれ、子宮もどんどん大きくなることが分かった。

・羊水は、赤ちゃんを守るためにあって、衝撃を受けても、赤ちゃんが安全に過ごせる役割だということが分かった。

・お母さんの体の中には、赤ちゃんを守るため、育てるための工夫がたくさんあることを知って、少し驚きました。

・がんばって産んでくれた命はとても大事であり、奇跡だから、お母さんやお父さんは嬉しいんだなと思いました。

・自分の体を大事にしようと思いました。